

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2172100881		
法人名	医療法人 静風会 大垣病院		
事業所名	グループホームHIPPO		
所在地	岐阜県大垣市室村町1丁目178番地		
自己評価作成日	平成25年6月16日	評価結果市町村受理日	平成25年8月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が医療法人であり 医療との連携強い。特に今年から 大垣病院内に 岐阜県認知症疾患医療センターが設置され 認知症専門医はじめ 専門スタッフとの指導、協力もあり 利用者様、ご家族に安心して頂いている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.jp/21/index.php?action=kouhyou_detai_2012_022_kani=true&ji_gyosvoCd=2172100881-00&PrEfCd=21&Versi onCd=022
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者と一緒に、一人ひとりの希望や意見を話しあい、それぞれが楽しみを見つけ、役割を生きがいとして暮らせるよう介護計画を立てている。運営推進会議には、利用者も全員参加し、お茶を出したり、事業所の運営に関する情報提供や意見交換にそれぞれ発言している。買い物など近隣のお店を利用し、顔なじみになり会話を楽しみ地域の一人となっている。又、管理者は自治会の自主防災隊の責任者として協力し、認知症予防講座を開き、認知症の理解や予防、地域密着型サービスの理解を図っている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地		
訪問調査日	平成25年7月24日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	HIPPO理念に地域密着型と記されていないが HIPPO開設当初から現在に至るまで地域とのふれあい深く、管理者、職員は馴染みの関係の中で実践されている	誰もが目につく場所に、理念を大きな文字で掲示している。管理者・職員は、地域の人と交流ができているか、利用者がゆったり暮らせているかなど、話し合いながら実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議7年以上続いている。地域行事への参加、回覧板の活用、地域住民と共に防災訓練、出前講座開催等で日常的に交流している	管理者は自治会の自主防災隊の責任者として協力している。又、認知症予防講座も開いている。利用者は地域の祭りに参加したり、クリーニング・洋服直しなど近隣のお店を利用しながら、顔なじみになれるよう交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常的な認知症についての相談の他、出前講座等を地域でさせて頂いている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では毎回入居者様全員が参加。入居者の声を 地域の方、ご家族、行政(地域包括)の方等にお届けできる様図っている。サービス向上に活かしている	利用者全員が参加し、家族・地域のメンバーの参加しやすい昼間・夜間を相談しながら開催している。職員の対応・言葉使い、緊急時対応などの意見はサービスに活かしている。会議録は欠席した家族にも報告している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	権利擁護の入居者様がおられ 社協地域包括支援職員と積極的に密に関わっている	管理者は行政担当者と、防災対策や利用者個別の問題について何度も足を運び、又、医療保険との関係など相談や情報交換をしながら良い関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当グループホームが2階にあり、やむを得ず転落防止の為、施錠している(2F出入り口)が全職員は申し訳ないと思っている	身体拘束の弊害を内部研修で確認し共有している。居室が2階で、安全のため施錠していることを、契約時に家族に説明している。しかし、利用者の意向や職員からも外出を促し、1階の託児所や散歩・買い物など外出することを日課にして取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について施設内研修を行い 防止に努めている		

グループホームHIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在入居中の方で制度を活用している方が複数おられ実践、支援できている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明の元 理解、納得して頂き契約、解約を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にて利用者、ご家族の思い意見を伺う他 面会時や、毎日のお茶会等でも利用者の思いを知り、運営に反映させている	家族には訪問時などに、利用者には夜間の寛げる時間にたずねている。運営推進会議には利用者も家族も参加し意見を述べている。避難訓練後の家族の意見を参考にして、改善に向けて検討していくことを、リビングに掲示し説明している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的に職員と意見交換し、必要時法人へ提案、反映させている(例 防災対応等)	職員会議や、昼休みなど直接聞く機会を作っている。西日よけのすだれを防災カーテンにする提案など、職員の意見を検討し反映している。しかし、人材育成の観点から、積極的な外部研修などへの参加の取り組みが足りない。	会議や日ごろ職員の思いを引き出す機会を密にすると共に、在籍年数や力量にあわせ、外部研修への参加や、内部研修計画の充実を図られたい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は給与、賞与、介護職員改善金等又有給、指定休日もあり、やりがいをもって働ける様努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(新人職員2名を迎え) 法人、施設内研修の他 今後外部研修の機会を進めていく。ベテランの他の職員にも同様に進めていく		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者、ケアマネージャーにはネットワークがある。職員は自ら申し出て 他の施設訪問等に行き、感想など報告、良い点等を取り入れている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の思いを大切に、安心して頂けるよう 図り 馴染みの関係となるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のお困りな事、不安、要望等を傾聴し 良い関係づくりが出来るよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療との連携も強く、アセスメントをしっかりと取り 必要な支援を見極め対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の見習う点多く 職員も教えられる。共に支えあって生活している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との絆、信頼関係を大切にしながら 共にご本人を支えていく関係が出来ている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	同法人の中で、以前入院、入所していた病院、施設との連携もあり支援できている。地域内散歩、大垣市内のドライブにも出掛ける	多くの利用者は、入居の経緯から母体施設の入所者と馴染みがあり、行事や受診で出会い交流している。身近な関係の交流を大切にしている。学生時代の友人と文通を続けている利用者もあるが、昔の懐かしい人との交流が希薄である。	利用者の過去に交流のあった知人・友人・もう一度行ってみたい場所など、生活歴を振り返り、家族を交えて関係継続の工夫をしてほしい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全員女性という事もあり、利用者同士仲良く助け合って生活されている。職員もその姿に勉強させて頂いている程。今後も支援に努める		

グループホームHIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されても 適時見舞い、ご本人、ご家族の心配事を承る事良くある。関係先へその思いを伝える事もある		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思い、希望等を把握できるようアセスメントをとっている。	日常の会話や、就寝前のゆったりした時間に、思いを引き出しアセスメント表に残している。食器洗いや縫い物などの希望を聞いている。困難な場合は、家族に聞いたり毎日の支援を振り返りながら表情・行動からも把握するよう心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとり、馴染みの生活が出来る様これまでのサービス利用経過等の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの過ごし方、心身状態、残存機能等の現状把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、関係者と意見交換しより良く生活出来る様、現状に即した介護計画を作成している	センター方式から独自の書式を利用し、サービス担当者会議で医師、家族の意見を取り入れ作成している。退院時や状態にあわせ、公的サービスなどの利用も考慮して作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護支援経過表を各担当者が記録しそれを共有しながら情報交換、実践や計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の思い、ニーズに対応し精神デイケアに4名通所、訪問看護も受けており柔軟な支援、サービスの多機能化に取り組んでいる		

グループホームHIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との連携深い、防災訓練や地域内散歩など通じ 安全で豊かな生活が出来る様支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が医療法人であり 主治医との連携強く 信頼関係も強い、いつでも相談、診察が受けられる	多くの利用者が母体病院をかかりつけ医としている。必要に応じて近くの専門医にも受診している。職員は利用者の健康状態を看護師の訪問時に報告し、かかりつけ医と連携している。かかりつけ医へ定期受診は職員が付き添い、結果は家族に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1週間に1回、母体の病院より訪問看護師来所、情報交換し適切な医療、看護を受けられる様支援出来ている		
32		○入退院時の医療関係との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	同法人の中で 医療との連携、協働常にある。大垣市民病院との信頼関係もある		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りはせず、ご本人、ご家族の思い受け早い段階で 医療と連携する為 チームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所の看取りをしない方針を説明している。夜間も主治医と連絡ができる。重度化した場合は、利用者の希望に合わせ主治医と家族で話し合い適切な対応をしている。職員は緊急時対応に備えマニュアルを職員同士で体験しながら学習し共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員の訓練を定期的実践している。現在、特に新人職員2名に力を入れ、急変や事故発生時対応訓練を行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	全職員が訓練に参加し、災害時に利用者様を避難できる方法を身に付けるよう図っている。地域との協力体制も出来ている(地域の防災役員会に毎月管理者が出席)	消防署の指導で避難訓練を実施している。夜間訓練を運営推進会議に合わせて実施し、意見や評価を受けている。近隣の協力体制もある。3階に母体の職員の寮があり夜間の協力も得られる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人全体で接遇に力を入れており 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保に努めている	毎年接遇の研修をしている。管理者は利用者を尊重することを日常職員に話し、声かけのタイミング、トーンに気をつけ、排泄、入浴時などプライバシーの配慮に心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう日常的に働きかけている。他者の影響を受けやすく希望の表出できにくい方は 特にケアプランに入れ 取り組んでいる		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の思いに沿った、ゆったりとしたケアを心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	地域の理髪店の定期訪問有り、カットや顔そり施行。化粧や服に関心ある方も多くおしゃれを楽しめるよう支援できている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者様と相談してからの事多い。、好みや力を活かしながら職員と共に準備、片付けをしている	外注の食材が運ばれてくる。利用者の希望を聞いて、献立や味付けを変更し楽しんでいる。職員も一緒に食し、「〇〇さんの希望で生姜味にしました。如何ですか」など話題を提供している。利用者が片付けするなど、それぞれ役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様全員、主治医からの血液検査の結果が良好とお褒めの言葉有り。(法人の栄養管理士により管理、調達され、業者から毎日運ばれてくる食材を摂取している)		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	肺炎予防もあり、口腔内の清潔保持には力を入れている。舌苔にも注意している		

グループホームHIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	毎回の事であるが、病院退院後即 オムツはずしに取り組む等 排泄の自立支援に取り組んでいる。現在、夜間のみオムツ使用者1名。	排泄パターンを把握し、利用者のしぐさや表情を早く読み取り、そっと誘導するよう心がけ、安易におむつを使用せず、自立に向け取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医の指導もあり、便秘予防、対応には個々に応じ取り組んでいる。食事にも 便通の良い食材を取り入れている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様、3回／週(一日おきの)午前入浴施行。お風呂好きの方多い為。日曜のみ休ませて頂いている。夜間入浴は現在、希望者居られず。お茶会、テレビ等を楽しまれる為。入浴時間はゆったりと取っている	利用者のその日の希望や状態を聞いて入浴している。季節により入浴時間を変更したり、一人ひとりの希望に応じている。柚子湯・茶殻の湯にし、浴室では歌をうたい、気分よく、楽しめる工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣、希望、状況等配慮して休んで頂いている。夕食後は、すぐに休まれる方1名の他は全員9時頃就寝されている(お茶会、テレビ等好みに応じ)		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が一人ひとりが使用している薬の目的、副作用、用法等について理解している。精神薬も服薬される方も居られる為慎重に、症状の変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様全員、個々に役割、嗜好品、楽しみ事に応じ支援している。外出等気分転換の支援もその時々に応じ図っている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々に応じ 地域内散歩、ドライブ、買い物外食など日常的に外出できるよう支援している。今後の課題として一ご家族と共に外食等進めて行きたいと思う利用者様も居られる	ドライブで図書館・外食や季節の花を見に出掛けている。託児所の子供と接したり、日常の散歩時に手紙を投函したり、クリーニング店や、買い物時に地域住民と交流している。家族と外出希望の利用者には希望が叶うよう話し合っている。	

グループホームHIPPO

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は金銭所持の大切さを理解しており、所持や自己払い出来る方に対し、買い物、外食時の際の支援が出来ている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望に沿い ご家族、友人等に対し 電話、手紙のやり取りが出来よう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、適時、全室窓を全開一面会者よりお年寄り特有の臭い無く心地よいとの評有り。生活感や季節感を取り入れて居心地良い環境づくりを心かけている	利用者と一緒にすだれに色紙で朝顔を貼り季節を表出している。フェルトでカレンダーを作り、一人ひとり日にちを縫いつけ、利用者個別の予定を差し込んで暮らしやすい工夫をしている。居間やトイレ・浴室は清潔で気になる臭いはない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭い共用空間であるが 食堂のソファーを活用。寝転んだり、音楽を聴いたりして頂いている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人、ご家族と相談し 居心地良く過ごせるよう工夫している。必要なもの以外は置かないとの利用者様も居られる	三面鏡・オルガン・たんすなど使い慣れたものや、好きな書籍・化粧品・帽子を置いている。おむつ入れは職員の手作りでプライバシーに配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	2階に当施設があり、エレベーターがない為、移動時は 職員介助、見守りにて昇降される。リハビリともなっている。手すりも無いが職員の介助にて安全確保されている。トイレには鈴にて即職員が駆けつける		